2024 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	福井県民生活協同組合	代表者	松宮 幹雄	法人・事業所の特徴	越前市の北部に位置し、併設事業には、デイサービス、認知症対応型デイサービス、訪問介護、居宅介護、サービス付き高齢者住宅、特定施設入居者生活介護、グループホーム、地域包括支援センターがあり複合型の施設となっています。地域との繋がりを大切にすることを重視し、地域に向けて、認知症カフェや地域との祭り、在宅サービスの悩みや情報交換の場として家族向けに家族会なども開催しています。 『あなたらしいいつでも』を介護理念とし、生協10の基本ケアのケア方針を通じて、その人らしい生活を取り戻してもらうための支援を行いながら、“普通の暮らし”の支援を目指します。地域の方も協力的で区長、シニアクラブ、民生委員との連携もとれています。地域の防災訓練、社会奉仕などの参加や近くの高校と、毎年、交流学习も実施しています。
事業所名	県民せいきょう小規模多機能ホーム 丹南きらめきハウス	管理者	辻本 理子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	2人	1人	0人	3人	0人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画(2025年度)
A. 事業所自己評価の確認	・ご家族や地域の方に事業所の取り組みが把握できるように、広報誌の記載や、SNSでの発信をしていく。	広報誌での記載だけでなく、Instagramでの発信も、担当を決めて実施したことで前年度よりも投稿頻度が増え、情報の発信が継続できている。	・ぽっかぽか、インスタでは活動が確認できるが常勤スタッフ全員で対応されているか確認できない。 ・ぽっかぽか、インスタで確認できる。 ・様々な媒体を利用し効果的に活動の状況を発信出来ている。	・ご家族や地域の方に事業所の取り組みが把握できるように、広報誌の記載や、SNSでの発信をしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・ご利用者が個々にくつろぐことのできる環境作りを、声を聞きながら作成する。 ・ご利用者の動線の邪魔にならないものがないか、動作環境を作っていく。 ・外の危険な環境は、声をあげながら、改善につなげるよう働きかけを行う。	・和室にソファやテレビを設置し、利用者が自身の居場所を選べたりくつろげたりできる空間を確保できた。 ・スタッフが使用するパソコンなど、フロアにあった事務環境も配置を変更し、フロアの空間づくりとご利用者の動線の邪魔にならないようにした。	・アットホームな雰囲気気でハウス内に入りやすい。 ・利用者と職員の方の距離が非常に近い。 ・鍵はかけていないと記憶している。オープンで良い。	・ご利用者の声を聞きながら、ご利用者それぞれが自身の居場所を選べたり、したいことができたりする環境作りを行う。 ・ご家族や地域の方々が、気軽に立ち寄っていただけるよう、スタッフ一人ひとりがあいさつなどの接遇を大切に、また、事業所内の6Sに努める。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域のイベントが外出等をしたことが、ご家族に伝わっていないこともあるので、連絡帳や案内を活用しながら参加をすすめていく。 ・地域行事への参加の様子も広報誌やSNSに載せて発信していく。 ・運営推進会議では継続して報告を行う。	・連絡帳には活動したことや出来事を記入してご家族に伝えることができた。 ・地域の社会奉仕やイベント、防災訓練等に参加ができた。 ・武生商工高校の学生さんが来られ交流を行うことが出来た。 ・運営推進会議で活動の報告を継続して実施できた。	・今後も地域イベントに参加したい。 ・会議等でお会いする所しっかりした挨拶をされている。 ・十分知られていると思う。 ・職員の方は話しやすい方が多い。 ・連絡帳が極めて有効である。また、送っていただいたときに施設でどうだったか連絡して頂き有難い。 ・福祉関係の会議にも参加して頂いている。運営推進会議の中で代表者と良好な関係を築いておりそれをきっかけに地域とのかかわりあいができるようになっていく。	・地域行事(社会奉仕や防災訓練、まつり)に、ご利用者と一緒に参加し、その際の様子は、広報誌やSNSで発信していく。また、ご家族には連絡帳を活用したり、運営推進会議でも報告を行ったりしていく。 ・運営推進会議を通じて、丹南きらめきの行事もお伝えし、ご家族や地域の方々が気軽に事業所を訪れることができる機会を作る。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	・ご利用者本人の想いを引き出し、ご利用者からの声をもとに臨機応変に活動や外出の機会をもっていく。 ・小規模で必要なものを使うものの購入や、行ってみたいやってみたくらいなど意見を出し合い計画しながら積極的に地域に向いていく機会を持っていく。 ・ご利用者のことだけでなく、地域で気になる方の事等を事例を通じて共有できる時間を作る。	・利用者さんの想いを聞き、日々の活動や外出の企画、買い物に行くことが出来た。 ・小規模で使うものは利用者さんと共に買いに行くことが出来た。 ・地域で気になる方の事例はあまり共有が出来ていなかった。	・イベントや買い物などの娯楽は素晴らしい取り組みと思う。それに合わせて利用者の日頃の生活の中での生きがいや得意なことを活かした取り組み(カフェ、小規模内で習字の先生をする、工具などで何かを作るなど)が出来るようになると本人の生きがいに繋がるのではないかなと思う。 ・ぽっかぽかに外出の内容が載せられており左記設問とは思わない。 ・運営推進会議が行われている。 ・今後も多くの方に、地域行事やイベントに出席して頂きたい。	・ご利用者一人ひとりの想いを引き出し、ご利用者の声から、やりたいことの支援や活動、地域行事参加や外出の機会を作っていく。 ・ご利用者のことだけでなく、地域にも目を向け、地域で気になる方の事例を共有できる時間を作る。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の時間帯や曜日を工夫していきながら、直接の参加促進をおこなっていく。 ・他の事業所の運営推進会議の実施方法を参考にしながら、イベントと抱き合わせにするなど参加しやすい雰囲気や設定の工夫をする。	・運営推進会議についてのアンケートを実施した。運営推進会議に参加しやすいよう、平日だけでなく土曜日を設定したり、参加者の中にはZOOMで参加されたりするご家族もおられた。 ・運営推進会議にあわせて避難訓練等を行い参加しやすいよう工夫を行った。	・改善計画の内容での対応をされていると思う。 ・取り組みの説明が会議ごとに詳細にされている。 ・基本利用者に関する報告に終了してしまいがちなため、事業者側から地域の代表者に対して地域の心配な人がいないか等の話を向けると良いと思う。 ・地域でのイベントに参加して頂いている。 ・改善されている点をもあつたかもしれないが記憶になく申し訳ございません。	・運営推進会議の曜日や時間帯について、多くの方に参加いただけるように工夫していく。 ・防災訓練など、行事と抱き合わせて開催するなど、参加しやすく事業所の取り組みや雰囲気を知っていただけるようにする。
F. 事業所の防災・災害対策	・家久町の協力もあり、外の段差解消等を一部修繕してもらうことができた。また、地域の防災訓練も事業所として参加し、継続してブース設置等も行っていきたい。 ・防災、災害等の情報共有や避難訓練等の見学等、ご家族にも参加してもらえる工夫をおこなっていく。	・地域の防災訓練に参加出来た。ブースの設置を継続して行うことができた。 ・運営推進会議にあわせて避難訓練を実施し、訓練の様子を見ていただくことができた。ご家族の参加は1名となった。	・地域の防災訓練には今後もブース出展をお願いしたい。 ・避難訓練の見学はさせて頂いているが計画までは知らない。 ・参加して頂いており大変助かっている。 ・しっかりと訓練している様子が分かる。 ・利用者の避難において利用者の対応等のスキルを持っておられ一般人にはないので頼りになる。	・地域の防災訓練への参加(ブース設置)継続と、丹南きらめきの避難訓練等の見学にも、地域の方やご家族にも参加していただける工夫をしていく。 ・きらめきの防災計画について、運営推進会議の場を通じて、お伝えする機会を作る。